

平成18年度科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞及び創意工夫育成功労学校賞 受賞一覧

【 創意工夫功労者賞】			
企 業 名	氏 名	業 績	内 容
ユニシアジェーケーシーステアリングシステム(株)秋田工場	小原義明	無動力搬送装置滑車式搬送シュートの考案	自動車部品の製造工程において、加工途中の製品を次工程に運搬する際、これまで人手に頼っていたものを、本工夫では、滑車とオモリを用いて無動力で製品を次工程へ運搬する装置を考案することにより、作業負担の軽減及び生産効率の向上を図ったものである。
ユニシアジェーケーシーステアリングシステム(株)秋田工場	鈴木仁	シーソー搬送装置自重移動の考案	自動車部品の製造工程において、加工途中の製品を次工程に運搬する際、これまで人手に頼っていたものを、本工夫では、滑車を用いることにより製品の自重で次工程まで移動する装置を考案することにより、作業負担の軽減及び生産効率の向上を図ったものである。
秋田指月(株)	佐藤英行	組立て検査の自動化による品質と生産性向上の考案	本工夫は、コンデンサー製造工程において、これまでは手作業で行っていた組立・検査工程を半自動で行う工作機を考案し、コスト縮減、品質の向上及び生産時間の短縮を図ったものである。
TDK(株)稲倉工場	須藤英喜	生体電極用コアの工程改善	生体電極用コアの生産工程において、焼成前の成形品は性質上大変もろく「欠け」による不良品が発生していた。また、焼成時には製品が互いに付着し不良品が発生していた。 本工夫は、「欠け」「付着」を防止するため、成形品を焼成炉材に自動積載を行う受取機を考案することにより、生産性の向上を図ったものである。
TDK(株)鳥海工場	柴田正幸	小型複雑製品の取出方法改善	小型で複雑な特殊形状製品の生産工程において、これまでは成形後の取り出し方法が困難で「欠け」が発生しやすかったが、本工夫では、取り出し方法を改善することにより「欠け」を防止し、製品の連続成形が可能となるなど生産効率の向上が図られたものである。
東北交通機械(株)秋田支店	田中健一	券売装置硬貨補給治具及び発券部ガイドの考案	本工夫は、駅に設置されている券売機について、これまで、硬貨詰まりなどが発生していた釣銭補給作業時の補助器具を考案し、また、発券の際に生じる紙詰まりを防止するため発券部押さえガイドを改良することにより、故障の発生を大幅に減少させたものである。
(株)アキタセミコンダクタ	佐藤明	多数個取り詰替え治具による作業効率の改善	半導体製品の仕分け作業の際、これまでの仕分け用ピンセットでは1個ずつ取り分けていたが、本工夫では、一度に8個まで取り分け可能な器具を考案し、作業の効率化を図ったものである。
ジャパンスーパーコーツ(株)秋田事業所	佐藤正	ルツボ製造炉カーボン型交換作業時間短縮改善	高純度石英ルツボの製造工程における型枠交換について、これまで、型枠と軸の接合を調整するため、熟練工による作業が必要となっていたが、本工夫では、接合精度が高まるよう軸と型枠の接合方法を改善することにより、誰でも短時間に交換作業を行えるようにしたものである。
【 創意工夫育成功労学校賞】			
大館市立城南小学校			同校においては、理科や生活科の学習を通し科学に対する関心を高めるとともに、特別時間を設定して優れた理科研究発表や発明工夫作品を紹介するなど、児童が自分たちの生活をよく観察し創意工夫しようとする心情・態度を養う取り組みを行っている。 これらの取り組みにより、地区発明工夫展、県発明展及び全日本学生児童発明工夫展等で多数の入賞者を出すなどの成果を挙げている。